

市民活動サポートセンターからのお知らせ

NEWS

町会の総会をオンラインで
開催したい

講演会やイベントを
オンラインで配信したい

機材貸出サービスを開始しました！

様々な利用をサポートします！ 相談の予約は右上の二次元コードからどうぞ。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまでの対面での活動が制限され、活動のオンライン化が大きく進んだ団体がある一方、オンライン会議等に必要な機材が揃えられない、などのお悩みも多く寄せられました。そこで、市民活動サポートセンターでは、活動のオンライン化を支援するため、オンライン会議の開催やイベント等のインターネット配信に必要な、WEBカメラやマイクスピーカー等の機材の貸出を開始しました。機材の設定や利用のアドバイスなど、コーディネーターによるサポートも行いますので、まずはお気軽にご相談ください！



相談予約サイト



オフィシャルサイト

【お問い合わせ】

金沢市市民活動サポートセンター（金沢学生のまち市民交流館 1F）

☎ 076-225-7763 ✉ support_center@city.kanazawa.lg.jp

EVENT INFO

2021
10/23
(土)

まちなか
学生まつり

木倉町広場にて開催！

金沢まちづくり学生会議
公式Instagramをチェック！



2021
11/13
(土)

Civic Tech
Summit
KANAZAWA 2021

金沢未来のまち創造館にて開催！

金沢市公式ホームページ
をチェック！



※新型コロナウイルス感染拡大状況により、中止・延期となる場合があります。
イベントのホームページ・SNS などでご確認ください。

第12期
金沢まちづくり学生会議
出発式を行いました！



金沢市協働通信 vol.9

い い わ まち づ くり



令和3年度
協働のまちづくりチャレンジ事業
2次審査
オンラインにて実施しました！

特集

コロナ禍における市民活動

新型コロナウイルスの感染拡大により、市民活動が難しい状況にある中、活動方法の見直しやオンラインの活用など、感染拡大防止に努め活動を再開している団体が増えてきました。そこで今回は、コロナ禍においても積極的に活動を行っている団体を紹介します！

コロナ禍における市民活動

市民活動団体にお話を伺いました！

Finding ゴミ



Q1 コロナ禍での現在の活動状況はどのようになっていますか？

感染症対策を行いながら、イベントベースでゴミ拾いを行ったり、地域で行われている清掃活動に参加したりしています。新年度に入り、新たにメンバーが4名増えたので、メンバー間での交流・会話を中心に楽しく活動を行っています。各メンバー、やりたいことで溢れていて、イベント企画が追いついていないという嬉しい悩みを抱えています。

Q2 コロナ禍においても活動を続けられる強みは何ですか？

少人数でも活動が成立するため人数制限を設けたり、オンラインのイベントに変更したりと、柔軟な対応ができることが強みだと思っています。また、ゴミ拾いは密になることなく屋外で活動ができるので、コロナの影響を強く受けることなく活動ができていると考えます。『学生だからこそのこと』、『コロナ禍でもできること』を学生のうちにやりまくりたい！』という思いでいます。



Q3 他団体に紹介したい取り組みや伝えたいメッセージをお願いします！

ゴミ拾いをしていると、普段の生活では気づかないお店や裏道など、新たな発見があります。それがとっても楽しいです！ゴミ拾いが地味なイメージである時代はもう終わりました。私たちはゴミを拾うだけでなく、「ゴミ拾いを通じて地域のコミュニティ活性化」を目指しています。

FIKA 金沢

Q1 コロナ禍での現在の活動状況はどのようになっていますか？

会員が集まって活動はしていませんが、一人一人ができる範囲で自主的に会の目的である「金沢在住の外国人との交流」を地道に行っています。金沢国際交流財団から紹介があるものについては積極的に参加するようにしています。

Q2 コロナ禍においても活動を続けられる強みは何ですか？

コロナ禍で時間がある中、伝統文化等の習得にむけて新しいチャレンジにも挑戦するなど、次につながる良い機会だと思いうようにしています。



Q3 他団体に紹介したい取り組みや伝えたいメッセージをお願いします！

コロナ禍で交流活動がままならなくても、コロナ禍でもできることをできる範囲で実施し、今までのつながりを切らないように細く長く継続していくことに重きを置いています。

ようこそ産前産後ケア ～パパママ学級～



Q1 コロナ禍での現在の活動状況はどのようになっていますか？

参加人数を最大6名と人数制限をしています。令和3年度はオンラインクラスも導入しました。月に1～2回のペースで産後ケアクラスを開催していますが、毎回満席状態です。産後ケアを求めているママやパパは本当にたくさんいます。

Q2 コロナ禍においても活動を続けられる強みは何ですか？

コロナ禍において、産後女性の孤立化がさらに進んでおり、産後うつになる女性がこれまでの2倍に増えているという研究調査も出ています。何も対策をしなければ、自殺、虐待などの大きな問題は増える一方で、今後、少子化もどんどん加速する可能性も考えられます。コロナ禍だからこそ（コロナ禍でなくても）、産後女性の社会を作り、人と人が関わる場所を作り、体と心をケアする機会を作る、そんな産後ケアを充実する必要があります。出産後の母親に対するケアを充実させることで、きっと素晴らしい未来が待っています。

ただただ、ママたちが心からの笑顔で過ごしてほしい！コロナ禍になってからその想いは一層強くなりました。コロナ禍でも続けられる強みは、その想いです。

Q3 他団体に紹介したい取り組みや伝えたいメッセージをお願いします！

昨年度から満席状態が続いており、今年度もそうなることが予想されます。今年度は、産後ケアを受けたくても受けられないママやパパのために産後ケアのパンフレットを作成しました。産後ケアとは何なのか、どんなことをするのか記載されています。ぜひ手に取ってみてくださいね。産後のママやパパだけでなく、高校生や大学生など、これから親になる世代の方、子育て終了世代の方、おじいちゃんやおばあちゃんにも、ぜひ産後ケアに触れてほしいなと思います。



シングルマザーの会



Q2 コロナ禍においても活動を続けられる強みは何ですか？

もともとインターネットを使った情報発信が主な活動だったため、情報発信については変わらず継続しています。もともと困窮していたひとり親家庭が、コロナ禍によりますます苦しんでいます。しかし、そんなひとり親の力になりたいと動いている人たちも多くいて、情報が集まってきています。こんなときだからこそ、助け合いの力が強まると感じています。

Q3 他団体に紹介したい取り組みや伝えたいメッセージをお願いします！

ひとり親家庭への食糧支援やイベント開催をしていきたいと考えています。連携のご提案をいただくと励みになります。よろしくお願いいたします。

Q1 コロナ禍での現在の活動状況はどのようになっていますか？

対面での交流会を開催しづらくなっているため、イベント回数は減りました。

